

## 第 89 回政策研究大学院大学経営協議会議事要旨

- 日 時 : 2021 年 7 月 26 日 (月) 15 : 30~17 : 14
- 場 所 : オンライン開催
- 出席者 :
  - 〔学外委員〕  
石田委員、今井委員、嶋津委員、名取委員、長谷川委員、林(康)委員、板東委員、藪中委員
  - 〔学内委員〕  
田中学長、黒澤理事・副学長、道下理事・副学長、小島理事、木島副学長、高田副学長、細江副学長、岡本大学運営局長
  - 〔オブザーバー〕 田代監事、林(礼)監事
- 欠席者 :
  - 〔学外委員〕 奥委員、林(文)委員
  - 〔学内委員〕 なし

### I. 審議事項

#### 1. 第 4 期中期目標・計画(案)について

岡本大学運営局長から、第 4 期中期目標・計画(案)について説明があり、これを了承した。

- ◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。(○：学外委員、△：本学)
- ：外国人教員・女性教員比率について、「維持・向上」ではなく「向上」へ表記を改めたほうが良い。
- ：女性教員比率は、現状を鑑みて、「維持」を削除するのであれば、「向上を目指す」「向上を図る」という表現にするのはどうか。
- △：指標設定にあたっては、達成度の評価ができないため「図る」といった表現は避けるよう文部科学省より指示があり、そういった表現は難しい。
- ：「向上」と表現すべきではないか。本学は国際的な人材育成をしており、それに合う教員構成にするために最大限努力していく必要がある。難しいのであれば、「今期以上」のように「以上」という言葉を使ってはどうか。
- △：ご意見を踏まえ、役員会でどのような表現にするかを決定したい。
- △：外国人教員比率は既に 19.7%と高水準であり、今後向上を目指すのはかなり厳しいと考えている。
- ：外国人教員比率と女性教員比率の区別を明確にすることは良いと思う。外国人教員を増やすためにはかなりの財源が必要となるため、追加の財源がない状況で増やしていくことは難しいのではないか。女性教員は、母数が少ないため難しいかもしれないが、無理のないやり方で増やす方向を目指してほしい。
- △：外国人教員採用時は住居費等も考慮しなければならず、財源面での優遇がないと、外国人教員を採用することは難しい。
- ：「新聞やメディアを通じた研究成果等の発信」について、積極的に発信していくべきであり、SDGs アワードは好例だと思う。
- ：「エネルギー消費量」について、削減目標を引き上げることは難しいか。
- △：国立大学法人等施設整備 5 か年計画の 5%削減になっている。既に LED 化は済んでおり、建物構造上ソーラーパネルの設置も難しく、これ以上の削減を目指すことは難しい。

#### 2. その他

特になし。

## II. 報告事項

### 1. 第3期中期目標期間(4年目終了時)の業務の実績に関する評価結果について

岡本大学運営局長から、第3期中期目標期間(4年目終了時)の業務の実績に関する評価結果について報告があった。

### 2. 2021年度政策研究センター事業の採択結果について

木島副学長から、2021年度政策研究センター事業の採択結果について、報告があった。

### 3. 2021年度科学研究費助成事業の採択状況について

木島副学長から、2021年度科学研究費助成事業の採択状況について、報告があった。

### 4. 国立大学法人ガバナンス・コードについて

岡本大学運営局長から、国立大学法人ガバナンス・コードについて、10月末に公表する必要があるため、9月中に書面審議を依頼する旨、報告があった。

### 5. その他

特になし。

## III. 協議事項

### 1. 国立大学協会「第4期中期目標期間へ向けた国立大学法人の在り方について—強靱でインクルーシブな社会実現に貢献するための18の提言—」について

岡本大学運営局長から、国立大学協会「第4期中期目標期間へ向けた国立大学法人の在り方について—強靱でインクルーシブな社会実現に貢献するための18の提言—」について、国立大学協会より各国立大学法人の経営協議会外部委員に対して、本提言に基づいて連名で声明を出すよう依頼があった旨報告があり、協議が行われ、本学の特徴を踏まえた声明案を用意し、その内容に賛同いただける方のみ、声明に名前を連ねていただくこととした。

◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。(○：学外委員、△：本学)

○：いい提言であり、経営協議会として声明を発出することに同意する。

○：提言の全項目に賛成かということ、慎重に考える必要があると思う。本学らしい声明をまとめるのであれば賛成する。

○：本学の状況を踏まえ、本学らしさをアピールしていくことが、社会に対しても説得力を持つ。取組自体は賛成するが、文言に関しては検討が必要だと思う。

○：外部委員だけで声明を出すには、どういう目的があるのか。大学との関係をどのように考えているのか。

△：国大協の意図に確信はもてないが、大学経営に関与する外部有識者のも合意していることを伝えたいという意図だと思われる

○：本学としてどういう点に焦点を当てて賛成するのかを明確にしたほうが効果的である。

○：「機能強化のための財政支援の在り方」などは、本学は歓迎すべきことなのかどうか判断が難しい。すべてに賛成することは難しいが、個別に大学としての立場を強調することにした場合、財政支援の問題についてどういう姿勢を取るかも考えていかなければならない。

- ：本学の経営協議会委員として、本学の経営に資するところであれば協力したいが、国大協が用意した声明に外部委員が個人名で署名することは納得いくものではない。
- ：声明により、直ちに変わるわけではないが、少なくとも外部委員意見としてメッセージを伝えることは良いことだと思う。
- △：本学で独自声明文案を作成し、本学の経営協議会の委員として賛同いただける方のみ個人名を載せていただくこととしたい。

## 2. その他

### コロナ対応、夏学期以降の対応について

田中学長より、夏学期以降のコロナ対応について報告があった。

### 秋からの留学生受入れの見込みについて

黒澤理事より、今年度10月入学者の状況について報告があった。

以上